

水性光触媒塗料／ニューコート エーピー アウトワン

外装用

NU-COAT AP OUT-1

アパタイト光触媒二酸化チタンコート

セルフクリーニング効果により、 いつまでも美しい外観を保ちます

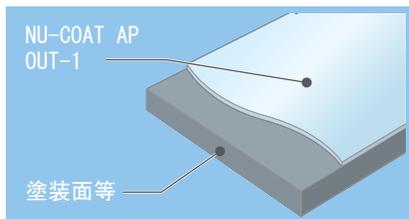


施工が易しい1工程タイプの光触媒塗料 ◆ 専用プライマーの必要なし ◆ 塗り替え時も特別な下地調整要らず

■ 工法

塗装面に塗布

※淡色から中間色まで推奨



■ 梱包（可能塗布面積）

1ℓボトルあたり
約100㎡分

■ 色

セミクリア

（無色で表面のツヤが若干落ちる
仕上がり）



■ 施工手順

スプレー塗布のみ

※施工後約3時間で乾燥（20℃）

※周辺をしっかりと養生してください

■ 主な採用実績



千葉大学（医病）病棟・母子センター 棟 京都大学宇治職員宿舎

【施工面積】 14,000㎡

【施工面積】 5,300㎡

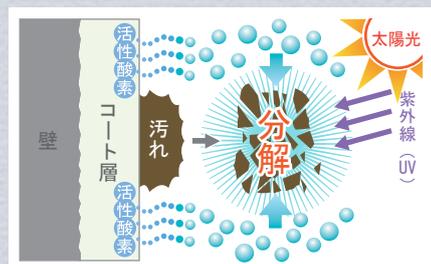
【施工時期】 平成22年1月～平成23年2月

【施工時期】 平成24年3月

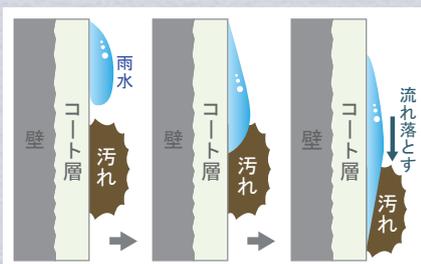
光触媒とは

二酸化チタンに紫外線が当たることにより起こる「光触媒」作用とは、有害化学物質を分解・無害化することができます。また、光触媒コーティング面が親水性（撥水性の逆）になるため、雨が当たると重力により外壁等に付着している汚れを洗い流します。

■ 分解作用



■ 親水性作用



■ 光触媒塗料の5つのメリット

美観

空気浄化

セルフクリーニング機能

メンテナンス費用軽減

快適な室内空間

アパタイトと光触媒の複合化

アパタイト：歯の主成分のひとつで、細菌やウイルスなどのタンパク質やアンモニア、窒素酸化物、アルデヒド類などを吸着し、また抗菌力にも優れた

複合化：光触媒の元となる二酸化チタンの回りにアパタイトを被覆しており、夜間など光が当たらない時でもアパタイトが物質を吸着。光が当たるとアパタイトが吸着した物質を二酸化チタンが分解します

アパタイト光触媒の優位性

無機質であるアパタイトがスペーサーとなり、二酸化チタンが基材に直接触れないため、基材自体をおかすことはありません。従来、光触媒のコーティングには二酸化チタンと保護層の2工程が必要でしたが、アパタイト光触媒は1工程でのコーティングが可能になり、光触媒コーティングの作業が容易で作業効率のアップにつながりました。

【標準塗装仕様】

塗料名 **NU-COAT AP OUT-1** (ニューコート エーピー アウトワン)

窒素酸化物などを分解する力が優れ、
 親水性により高いセルフクリーニング効果が得られます。
 施工完了後は若干艶が落ちますので、
 淡色素地面に推奨する光触媒トップコート剤です。

JIS R 1703～ファインセラミックス
 ～光触媒材料のセルフクリーニング性能試験方法～
 第2部：湿式分解性能

適正下地	標準塗布量 (cc/m ²)
一般塗料面 (アクリル、ウレタン、シリコン)、タイル、 コンクリート打ち放し面等 ※淡色素地推奨	9～11 (約100m ² /ℓ)

吹き回数	乾燥時間	希釈	塗装方法
縦横各1～2回	約3時間以上	無	吹付け ガン先口径 0.5～0.8 (エアレス不可)

光触媒等の種類	酸化チタン
光触媒等加工部位	外装用 (アクリルシリコン樹脂面)
光触媒等の効果	セルフクリーニング効果 分解活性指数 26 <small>※測定方法はJISR1703-2に準拠</small>
使用できる場所	屋外
安全性	急性経口毒性、皮膚一次刺激性、 変異原性について安全性基準を満 足していることを確認していま
使用上の注意	表面に過度の汚れが付着してい ると、十分なセルフクリーニング効 果が得られませんので、定期的な 洗浄をお勧めします。

お取り扱いの注意

- ※ 標準塗布量は、平滑面への塗布を想定しており、素地の形状、状態、気象条件により変動いたします。
- ※ 施工後、若干艶が落ちますのでサンプリングをお勧めいたします。塗布面は淡い色を推奨いたします。
- ※ 横吹き、縦吹きを各1回または2回が基本施工。
- ※ 凹凸下地の場合は、塗布量が2割程度割増しとなります。

■ 施工上の注意

- ・ 吹き回数、塗布量はあくまでも目安で、凹凸がある面やノズルからの塗布量、風等の環境により判断が必要となります。
- ・ 仕上がりは、若干光沢が落ちますので、本施工する前に、試し塗りをして施主様にご相談してから施工してください。
- ・ 規定以上の量を塗布した場合、白ボケしてしまう場合がありますのでご注意ください。
- ・ 基盤となる面が完全乾燥していることを確認してください。壁面からガン先を30cmほど離して施工してください。またストロークとストロークの継ぎ目の吹き残しにご注意ください。
- ・ 窓ガラス、光沢を前提とする石、タイル等にはマスキングをしてください。現場近くの自動車や樹木などの養生に注意してください。外装施工において高所作業または、足場を組む事を前提とします。
- ・ 雨天、強風日は作業不可とします。施工時気温は5℃～40℃を推奨いたします。施工中は送風マスク、ゴーグル、ゴム手袋を装着して作業を進めてください。

■ 防汚効果の注意

- ・ 外装施工の場合、紫外線の量により光触媒効果に差がでます。施工面によっては、親水性が判り難い場合がございます。
- ・ 排気口などの汚れ負荷が大きい場所や部位により、防汚効果が十分に発揮できない場合があります。笠木などの水切りがない部分、形状により汚れが過度に集中する部分、雨のかかりにくい部分、著しい土砂汚れには効果が十分に発揮されない場合があります。赤錆、緑青錆、白錆等の汚れには効果がありません。
- ・ シリコーンシーリング剤が使われている場合、その周辺が汚れることがあります。ポリイソピチレン系、ポルサルファイド系、変性シリコーンに打ち変えることを勧めてください。

■ 取扱い・保管方法

- ・ 20℃以下の保管庫に貯蔵し、6カ月以内に使い切ってください。開封されたものは、その現場にて処理してください。
- ・ 保管は子供の手の届かない所へ保管してください。消防法に定められた一定の量、場所で貯蔵してください。
- ・ 廃棄は専門回収業者に委託してください。取扱い後は手洗い、うがいをしてください。本用途以外には使用しないでください。

■ 応急処置

液剤が目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。液剤が皮膚に付着した場合は多量の水で洗い、外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の相談を受けて下さい。蒸気などを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。液剤を誤って飲み込んだ場合や、異常を感じた場合には、医師の診察を受けてください。

この内容は安全衛生上の注意について要点のみを記載しており、詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート (MSDS) をご参照ください。
 ※必要な際にはご連絡ください。